

令和4年度事業報告書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

NPO 法人 SUN-Tatebayashi

1 事業実施の成果

①特定非営利活動に係る事業

- ・児童福祉法に基づく障害児通所支援事業
- ・発達障害を抱えた方にエビデンスに基づく支援事業
- ・エビデンスに基づく介入教育を地域に広げる講演・セミナー事業

②館林市受託事業

③地域貢献事業

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
	別紙のとおり				

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

令和4年6月27日 令和3年度決算報告・活動報告
令和4年度事業計画及び活動予算
令和4年度役員改選

(2) 理事会

令和 4年6月27日 令和3年度決算報告・活動報告
令和4年度事業計画及び活動予算
令和4年度理事長・副理事長の選定

2022年度 事業報告書

NPO 法人 SUN-Tatebayashi

1. 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業【ぼっこクラブ2】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、児童発達支援事業の運営に努めました。コロナ禍の影響で、社会の変化が急激におきたこの数年、そんな社会の大きなうねりを経験し、改めて自閉スペクトラム症の子どもたちやその保護者へ私たちが果たす役割を深く考える機会でもありました。

「高い品質の介入教育を日々のセッションを通じて子どもたちに提供することにより、保護者及び他職種と協働で、子どもたち、それぞれに合った成長目標の達成をお手伝いする」この私たちのミッションを達成できるよう日々のセッションでは、子どもたち一人ひとりの発達や特性に合わせ、エビデンスのあるプログラムに基づいた療育・介入教育を行い、また、その技術・知識を高めるため高度な専門家から指導をいただく研修を定期的に行いました。職員の更なるブラッシュアップとなり、子どもたちの発達支援に活かされています。

保護者支援では、個別にセッションの内容とその時のお子さんの様子や取組んだ結果等をご報告させていただくとともに、保護者の方からのご相談やご要望についても聞かせていただいています。また、ご家庭でお子さんにあった関わり方や子育てのアドバイス等必要な情報もお伝えしています。保護者対象の勉強会も継続的に開催し、視覚支援の一つである「スケジュール」や、子どもの行動上の問題について学んでいただく機会を設けました。勉強会後にご家庭で実践しやすくするために職員が個別に保護者の方にアドバイスやフィードバック等も行いました。

その他にPECS(ペクス:代替コミュニケーションシステム)をご家庭で使用されている保護者同士の情報交換会や CARE ワークショップの受講者にフォローアップを行い、継続的にご家庭で取組みやすくするための支援も行いました。

小学校への移行支援では、子どもたちに「学校」に関する情報を一人ひとりに合わせて伝えたり、視覚支援である手順書を使用して教科書や学用品の準備等を練習したりしました。また、間接支援としては、個別に特性を簡潔にまとめ、支援方法を具体的に記載した「移行支援シート」を作成し、必要に応じて就学先との連携等も行いました。

今後も児童発達支援事業のガイドラインに沿った、そしてエビデンスに基づく介入教育・支援等のサービスを継続して提供できるよう努めてまいります。

② 発達障害を抱えた方にエビデンスに基づく支援事業

高度な専門家による研修を職員対象に定期的実施し、支援向上に努めました。

【講師の資格等】

PCIT 認定セラピスト、TEACCH®公認臨床家、PECSインプリメンター、公認心理師、東京学芸大学 教育実践研究支援センター(特別ニーズ教育支援部門)教授

実施日	内 容	対 象	場 所
6月17日	乳幼児期の介入	支援従事職員	法人事務所(オンライン)
6月30日	事例検討会	支援従事職員	岡田こどもクリニック SUN-Sano
9月16日	特別支援教育の仕組み	支援従事職員	法人事務所(オンライン)
10月20日	行動の強化、学習理論	支援従事職員	法人事務所(オンライン)
11月18日	言語の発達	支援従事職員	法人事務所(オンライン)
11月29日	事例検討会	支援従事職員	法人事務所
12月16日	ケースカンファレンス	支援従事職員	法人事務所(オンライン)
1月20日	感情調整	支援従事職員	法人事務所(オンライン)

③ 講演会・セミナー開催事業

【講演会・セミナー講師】

以下のとおり講演会・研修等の講師を務めました。各地域の教育関係者、支援者、一般の方、行政職員等多くの方に発達障害や自閉スペクトラム症の特性について知っていただく機会となりました。

講演日	内 容	対象者	主催・会場等
4月3日	テーマ:自閉スペクトラムって?	一般市民40名	群馬県自閉症協会・向井千秋記念子ども科学館
6月21日	CARE ワークショップ	障害児通所支援施設支援員・放課後学童クラブ指導員16名	館林市社会福祉課
10月6日	テーマ:発達障がい理解	市子連・PTA役員・教育関係・幼稚園教諭など 24名	館林市生涯学習課・館林市役所
11月29日	CARE ワークショップ	障害児通所支援施設支援員・放課後学童クラブ指導員16名	館林市社会福祉課
11月17日	テーマ:発達障害のある子供の理解と対応	群馬県内養護教諭100名	群馬県総合教育センター・同所
2月21日	テーマ:発達障がい理解	児童発達・放課後等デイサービス職員 50名	自立支援協議会・館林市役所

【SUN グループ保護者勉強会】

参加人数を少人数とし、3 密を避けた環境で講師と会場をオンラインで繋いだ講義形式で行いました。コロナ禍にありながらも少しでも多くの方に学んでいただけるよう取り組みました。

開催回数:年間4回

対象者:SUN グループを過去または現在ご利用の保護者

講師:SUN グループ職員

開催方法:会場参加でオンライン形式

開催日	内 容	参加人数	開催場所
6月19日	就学に向けて	12名	ぽっこクラブ 2
8月28日	自閉スペクトラム症について	4名	ぽっこクラブ 2
11月6日	構造化について	5名	ぽっこクラブ 2
2月5日	自己認知と茶話会	8名	ぽっこクラブ 2

(2) 受託事業

名称:館林市発達障がい早期発達支援事業「ぼん!ぼん!キッズ」「保護者教室α」

【ぼん!ぼん!キッズ】

内容:全8回の無料セッション(内1回は法人が地域貢献として無報酬で実施)で、自閉スペクトラム症と診断され、2 語文程度の言語レベルの概ね4歳未満の子どもとその保護者が対象。保護者へは自閉スペクトラム症の特徴と本人(子)の特性について理解を促すこと、家庭の中で保護者の関わり方や声のかけ方等についての助言とフィードバックを行いました。また、子どもには直接支援と保護者を通じた間接支援を行いました。実施実績は次のとおりです。

施月	セッション実施回数	利用親子数	場 所
4月	24	8	ぽっこクラブ2
5月	18	12	同 上
6月	19	9	同 上
7月	25	10	同 上
8月	20	10	同 上
9月	16	10	同 上
10月	21	10	同 上
11月	22	11	同 上
12月	16	10	同 上
1月	17	10	同 上
2月	20	9	同 上
3月	19	7	同 上
合計	237	116	

【保護者教室 α】

内容: 自閉スペクトラム症と診断された、2 語文以上の言語レベルの小学 1 年生までの子どもの保護者を対象に全 3 回の無料講座で、内容は以下のとおりです。

講座①「自閉スペクトラム症について」 自閉スペクトラム症の子どもの学び方(学習スタイルの違い)についての基礎講座

講座②「親子の関わり(Part1)」 親子の関係を深めるための言葉かけ等を学び、ロールプレイも行う講座

講座③「親子の関わり(Part2)」 親子の関係をより深めた上で上手な指示の伝え方を学ぶ講座
なお、講座①については、市役所職員、教員、障害児通所施設の職員も聴講しました。

施月	セッション実施回数	利用保護者数	聴講支援者数	場 所
5月	2	5	8	館林市城沼公民館
7月	1	1		同 上
10月	2	1	8	同 上
1月	3	9	6	同 上
3月	1	7		同 上
合計	9	23	22	

(3) その他

【地域貢献事業】

学校法人学文館 上武大学看護学部 公衆衛生看護学実習

実習期間: 7月 29日・8月 26日・9月 30日

実習人数: 16人

令和 4年度 活動計算書
 令和 4年4月1日から令和 5年3月31日まで

NPO法人 SUN-Tatebayashi
 (単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費	0	0
2. 受取寄附金		
受取寄附金	91,145	0
3. 受取助成金等		
館林市運営費補助金	3,529,100	0
4. 事業収益		
障害児通所支援事業収益	26,501,098	
5. その他収益		
受取利息	44	
受取配当金		
雑収入	600,305	30,721,692
経常収益計	0	30,721,692
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	21,709,474	
法定福利費	3,248,450	
厚生費	384,538	
人件費計	25,342,462	
(2) その他経費		
給食・教材仕入	141,524	
旅費交通費	0	
賃借料	636,336	
減価償却費	2,286,060	
備品消耗品費	1,098,076	
研修費	56,600	
保険料	423,780	
会議費	0	
その他経費計	4,642,376	
事業費計		29,984,838
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	1,200,000	
法定福利費		
人件費計	1,200,000	
(2) その他経費		
広告宣伝費		
事務用消耗品費	0	
通信交通費	174,358	
水光熱費	393,093	
租税公課		
地代家賃	144,000	
接待交際費	10,488	
雑費	1,716,495	
修繕費	23,100	
支払利息	94,011	
その他経費計	2,555,545	
管理費計		3,755,545
経常費用計		33,740,383
当期経常増減額		-3,018,691
III 経常外収益		
賞倒引当金戻入		
経常外収益計		
IV 経常外費用		
賞倒引当金繰入		
経常外費用計		
引前当期正味財産増減額		-3,018,691
法人税、住民税及び事業税		81,406
当期正味財産増減額		-3,100,097
前期繰越正味財産額		-700,043
次期繰越正味財産額		-3,800,140

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

注) その他事業を実施していない旨の欄外表記は、定款にその他事業を掲げていない場合は不要です。

令和 4年度 貸借対照表
令和 5年3月31日現在

NPO法人 SUN-Tatebayashi
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	2,067,604	
未収入金	4,834,400	
前払費用	12,000	
立替金		
流動資産合計		6,914,004
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	24,960,848	
構築物	3,257,668	
車両運搬具		
工具器具備品	1	
建物付属設備	4,234,234	
土地		
一括償却資産		
有形固定資産計	32,452,751	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア		
創業費		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
出資金		
長期前払費用		
保険積立金	908,592	
投資その他の資産計	908,592	
固定資産合計		33,361,343
資産合計		40,275,347
II 負債の部		
1. 流動負債		
短期借入金	14,040,136	
未払費用	233,456	
未払法人税等	81,400	
預り金	80,495	
流動負債合計		14,435,487
2. 固定負債		
長期借入金	29,640,000	
固定負債合計		29,640,000
負債合計		44,075,487
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	-700,043	
当期正味財産増減額	-3,100,097	
正味財産合計		-3,800,140
負債及び正味財産合計		40,275,347

令和 4年度 財産目録
令和 5年3月31日現在

NPO法人 SUN-Tatebayashi
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金	542,446	
普通預金	1,209,990	
普通預金	315,168	
未収金		
相談支援事業未収金		
児童発達支援事業未収金	4,709,104	
未収入金	125,296	
前払費用	12,000	
立替金		
流動資産合計		6,914,004
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	24,960,848	
構築物	3,257,668	
車両運搬具		
工具器具備品	1	
建物付属設備	4,234,234	
有形固定資産計	32,452,751	
(2) 無形固定資産		
創業費		
ソフトウェア	0	
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
出資金		
保険積立金	908,592	
長期前払費用		
投資その他の資産計	908,592	
固定資産合計		33,361,343
資産合計		40,275,347
II 負債の部		
1. 流動負債		
短期借入金	14,040,136	
未払費用	233,456	
預り金	80,495	
源泉所得税預り金		
未払法人税等	81,400	
法人税市県民税	81,400	
流動負債合計		14,435,487
2. 固定負債		
長期借入金	29,640,000	
固定負債合計		29,640,000
負債合計		44,075,487
正味財産		-3,800,140

(法第28条第1項関係様式例)

年間役員名簿

(前事業年度において役員であった者の氏名及び住所並びに各役員についての報酬の有無)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

NPO法人 SUN-Tatebayashi

役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	岡田 恭典		4年04月01日 ～ 5年3月31日	4年4月1日 ～ 5年3月31日
副理事長	岡田 恭子		4年04月01日 ～ 5年3月31日	無
理事	野沢八千万		4年04月01日 ～ 5年3月31日	無
理事	高森 勉		4年04月01日 ～ 5年3月31日	無
理事	秋山 伸恵		4年04月01日 ～ 5年3月31日	無
監事	山田 靖		4年04月01日 ～ 5年3月31日	無

(備考)

- 1 「役職名」「氏名」欄には、_____の期間中に役員であった全ての人について、理事、監事を別に記載する。
- 2 「住所又は居所」欄には、住民票又は外国人登録原票記載事項証明書により証された住所又は居所を記載する。
- 3 「就任期間」欄には、_____の期間中に役員であった者の全てについて当該期間内で実際に役員であった期間を記載する。
- 4 「報酬を受けた期間」欄については、「就任期間」中に報酬を受けたことがある役員についてのみ報酬を受けた期間を記載する。

(法第28条第1項関係様式例)

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

令和 5年3月31日現在

NPO法人 SUN-Tatebayashi

	氏 名	住所又は居所
1	岡田 恭典	[Redacted]
2	岡田 恭子	
3	野沢 八千万	
4	秋山 伸恵	
5	高森 勉	
6	山田 靖	
7	金泉 志保美	
8	泉 理恵	
9	石崎 治	
10	高柳 直美	

(備考)

- 1 時点は前事業年度の最終日を記載する。
- 2 「氏名」欄には、法人にあっては、その名称及び代表者の氏名を記載する。
- 3 名簿は、前事業年度の末日現在における社員のうち10人以上の者の氏名及び住所又は居所を記載する。